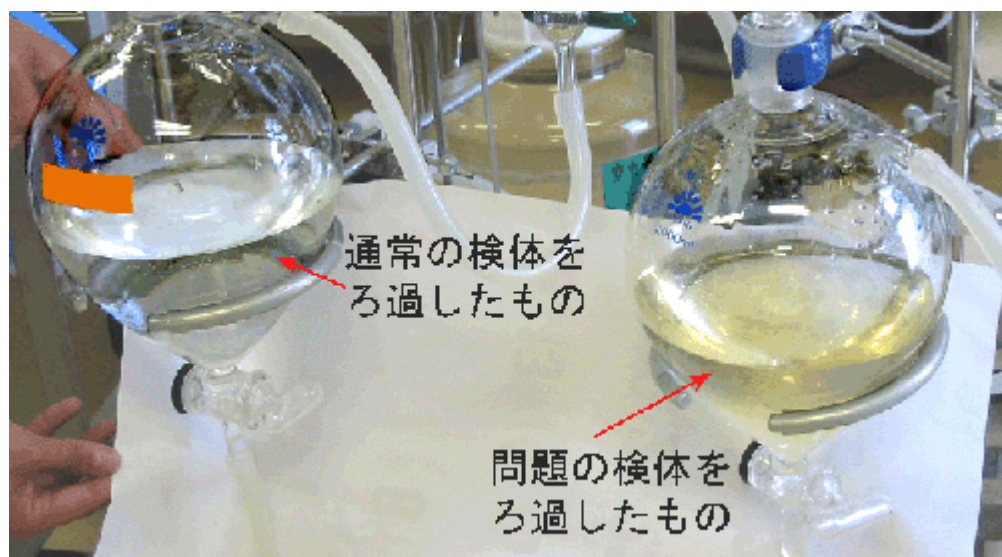


黄色い雨！？

大気担当では、降下ばいじんの検査を行っている。検査は、デポジットゲージという、ばいじん及び雨と一緒に降ってくるばいじんを捕集する装置を外に置き、月に一度回収して不溶解性物質(ろ紙残留物)などを測定するのだ。

ある日、大気担当より「ばいじんを測定するために捕集した雨が、黄色いんです……」と相談を受けた。黄色い雨！？なんて見たことも聞いたこともなかったので、早速現物を見せてもらった。

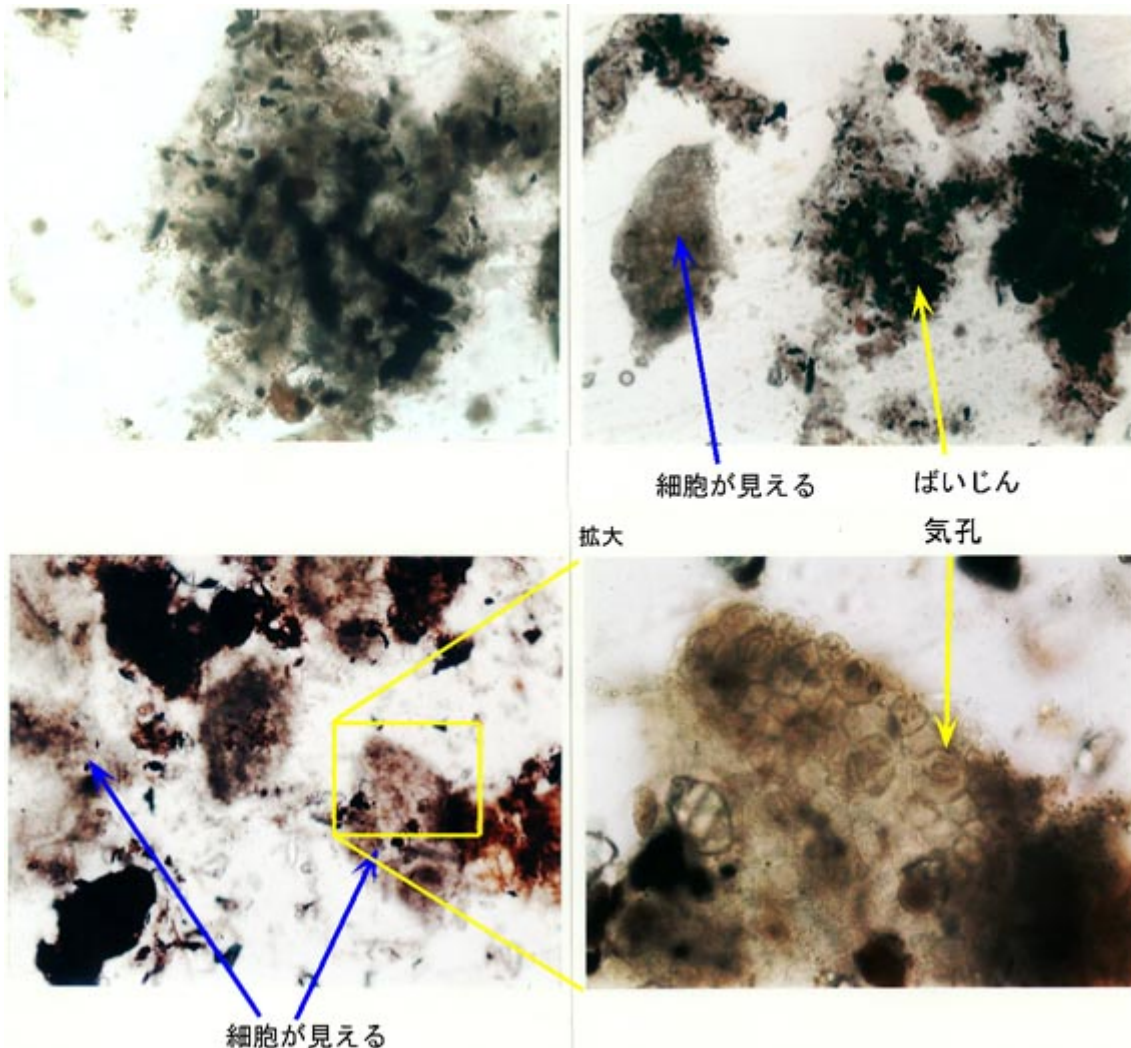


「なるほど、確かに黄色い……ろ液まで黄色いとは、溶解性のものだね。合点承知！！ぼくに任せて！！」

ぼくはろ液(捕集液)について次のような検査を試してみた。

	単位	対照	黄色い検体
pH		5.52	5.77
電気伝導度	μ S/cm	43.7	31.4
鉄	ppm	<0.05	<0.05
溶解性有機炭素	ppm	2.1	5.6

問題の雨は、溶解性有機炭素が高いから、この色の成分は**有機物由来**と考えられるなあ・・・おやあ？このろ紙残留物には、緑色の粒が混じっているぞ？枝も入っているじゃないか。よし、この緑色の粒を顕微鏡で観察してみようじゃないか！！



おやおや、植物細胞や気孔まできれいに観察できるぞ！**植物片や植物の分解物**が混入してる。ということは、黄色い雨の正体は植物分解成分(フミン質)が溶解したものだ！！やれやれ、本当に黄色い雨が降っているのではなくてよかった、よかった！早速こんな物が入ってこない場所に移してもらおう。

これにて一件落着～～。

降下ばいじんとは？

大気中の粒子状物質(砂ぼこり、自動車の排気ガス、工場からのばい煙など)のうち、重力や雨によって地上にかなり早く降下するばいじんや粉じんのことをいいます。